

第三者データで、コーポレートファイナンス・M&A業務の可能性を最大限に引き出す

コーポレートファイナンスとM&Aは、多くの業界で重要な役割を担っており、企業が戦略的成長に向けて新たな市場や地域へ進出する手段でもあります。M&A活動は過去20年間で飛躍的に拡大し、民間セクターは常に多忙を極めてきました。

一方、税務、競争政策、国家安全保障の観点からM&A動向を把握・監視する必要がある規制・貿易当局などの政府機関も対応に追われています。

案件数はここ数年の記録的な高水準からは減少しているものの、企業はパンデミック中に保留にしていた案件の再開を進め、混乱への対応や将来のリスクに備えた事業変革への投資を続けています。

足元の景気循環における経済の不安定さから、「状況が落ち着くまでM&A担当者は様子見に回るのでは」と思われがちですが、実際にはその逆の動きが見られています。

ビジネス変革が進む中、M&Aの意思決定にはスピードと柔軟性がこれまで以上に必要

市場のボラティリティが時価総額を押し下げ中、買収ターゲットの企業価値評価（バリュエーション）はますます魅力的になっています。

これに、ビジネス変革の加速や、新型コロナによるサプライチェーンの混乱、ウクライナ情勢も加わり、M&A活動の活発さは依然として維持されています。

迅速かつ成功率の高い投資を実現するためには、コーポレートファイナンスやM&Aの担当者は、きめ細かいタイムリーなデータや分析に裏付けされた案件情報や噂に関する情報が必要です。これらは、潜在的な買収先の真の価値を見極めるため、あるいは自社が買収対象となる場合や売却・事業譲渡を検討する際に、自社の価値を評価するうえで役立ちます。

コーポレートファイナンス・M&A担当者が効果的に業務を遂行するためには、具体的には、以下の4つの領域を満たす必要があります。

噂や案件情報へのアクセス

案件が成立に向けて進行する、または破談となる過程で、常に最新の噂や案件情報を把握することは極めて重要です。また、案件情報を直接メールで受信できることも等しく重要です。



毎年10万件を超える企業およびクロスボーダー投資案件を追加



7種類の取引タイプをカバー、内70%以上に取引額と財務情報を収録



グローバルな比較分析に対応した標準化財務データを提供

ターゲット市場および企業の選定

ターゲット企業を迅速に選定し、買収を評価するためには、詳細な事業活動情報、財務データ、取引履歴、企業構造に関する情報が必要です。

類似企業の調査

業界や国境を越えて案件を比較するには、グローバルに標準化された信頼性の高い財務データが不可欠です。産業分類、事業内容、主要・副次事業領域で企業を紐付けるデータにアクセスできれば、異なる案件間でも一貫性のある財務分析を行えます。また、案件の詳細な解説や根拠情報も非常に有用です。

企業価値評価（バリュエーション）

開示されている場合、実際の取引額に基づくバリュエーションは不可欠です。これに加え、株式価値、実測およびモデルによる企業価値（EV）、買収対象の総価値、および取引基準通貨なども必要となります。

また、過去データを参照することで、バリュエーションのトレンドを把握し、今後のバリュエーション予測に役立てることができます。

第三者データプロバイダーで コーポレートファイナンス・M&Aの 意思決定を強化

第三者データプロバイダーを活用すると、コーポレートファイナンスやM&Aの担当者は、案件情報や噂を常に把握し、新市場を開拓し、潜在的な案件を迅速に発見し、類似企業の調査やバリュエーションの評価を効果的に進めることができます。

第三者データプロバイダーを選定する際は、過去データ、類似企業、マルチプルを含む、きめ細かいタイムリーな企業・案件データを提供できる信頼性の高い企業を選ぶことが重要です。

特に、以下にアクセスできることが重要です。

案件ニュースとアラート：噂や発表済み案件、撤回案件、成立案件に関する最新情報を把握するためのタイムリーなニュースデータ。カスタマイズしたアラートを直接メールで受信可能。

案件データ：潜在的な取引の全体像を把握するための、案件、企業、類似企業に関する直近および過去の詳細な分析情報。

バリュエーションデータ：財務、法務、業界トレンドのデータセットに基づき算出。公平な業界アナリストによる格付やスコアも含まれ、世界中の企業を分析・比較可能。

企業構造と所有構造：グループ全体の評価や親会社の財務安定性を考慮するための、広範な企業構造データへのアクセス。

資金難のイノベティブ企業（ターゲット候補）：

特許、企業、取引関係者のつながりをたどることで、企業が保有する知的財産資産とその価値を、企業・資産レベルで把握。

トレンドデータ：高収益スタートアップや中小企業のポートフォリオ・バリュエーションおよび企業財務に関するトレンドデータ。また、潜在的なターゲットを特定するための複合分析に必要な、過去の標準化財務データへのアクセスも重要。

コーポレートファイナンス・M&Aデータの 信頼できるパートナーとして

当社は以下のような情報へのアクセスを通じて、コーポレートファイナンスやM&Aにおける意思決定の質向上を支援します。

- ほぼリアルタイムで配信されるニュースやアラート：複雑な検索条件でカスタマイズ、特定の案件や企業に関するニュースや最新情報をモニタリング可能。
- 25年以上蓄積された案件データ：240万件以上の案件・噂情報を収録。うち70%以上に取引額と過去の経緯・情報を掲載。
- グローバルな特許情報：240万社に紐付けられた1億4900万件の特許を網羅。特許件数、買収状況、バリュエーションを含む各企業毎の知的財産の全体像を把握可能。
- 信用分析・解説：ムーディーズ・レーティングスが格付けする約6,000社の非金融事業会社、インフラ・プロジェクトファイナンス会社を対象に、信用力に影響を与える関連セクター・トピックも幅広くカバー。
- 詳細な企業構造：高度な親会社・グループ構造および所有関係の分析を提供。
- 人物情報：4億5800万人以上、うち260万人がPEPs（公的要人）の人物情報を収録。
- グローバル企業データ：世界6億社以上、北米だけでも9000万以上の企業の拠点データを収録。

これらのリソースは、当社のコーポレートファイナンス・M&Aソリューション、Webベースプラットフォームからアクセスできるほか、当社独自のコネクタやパートナーAPIを通じて既存アプリケーションから連携することもできます。

コーポレートファイナンス・M&Aは、企業の成長・戦略に欠かせない重要な手段であり、目的達成のためには投資が必要となります。

当社のデータとソリューションを活用すれば、お客様自身でこれを管理することができます。また、当社のコーポレートファイナンス・M&A専門家と連携して、ニーズや要件に合った対応を図ることもできます。

当社のデータとツールやインターフェースを連携して活用すれば、最適解に早くたどり着き、コーポレートファイナンス・M&Aの目標達成を加速できます。

コーポレートファイナンス・M&Aにおけるどの段階でも、当社がサポートします。

詳細については、[こちらをクリック](#)するか、お電話にてお問い合わせください：

南北アメリカ

+1.212.553.1653

clientservices@moodys.com

アジア地域(日本を除く)

+852.3551.3077

clientservices@moodys.com

欧州・中東・アフリカ (EMEA)

+44.20.7772.5454

clientservices@moodys.com

日本

+81.3.5408.4100

clientservices@moodys.com